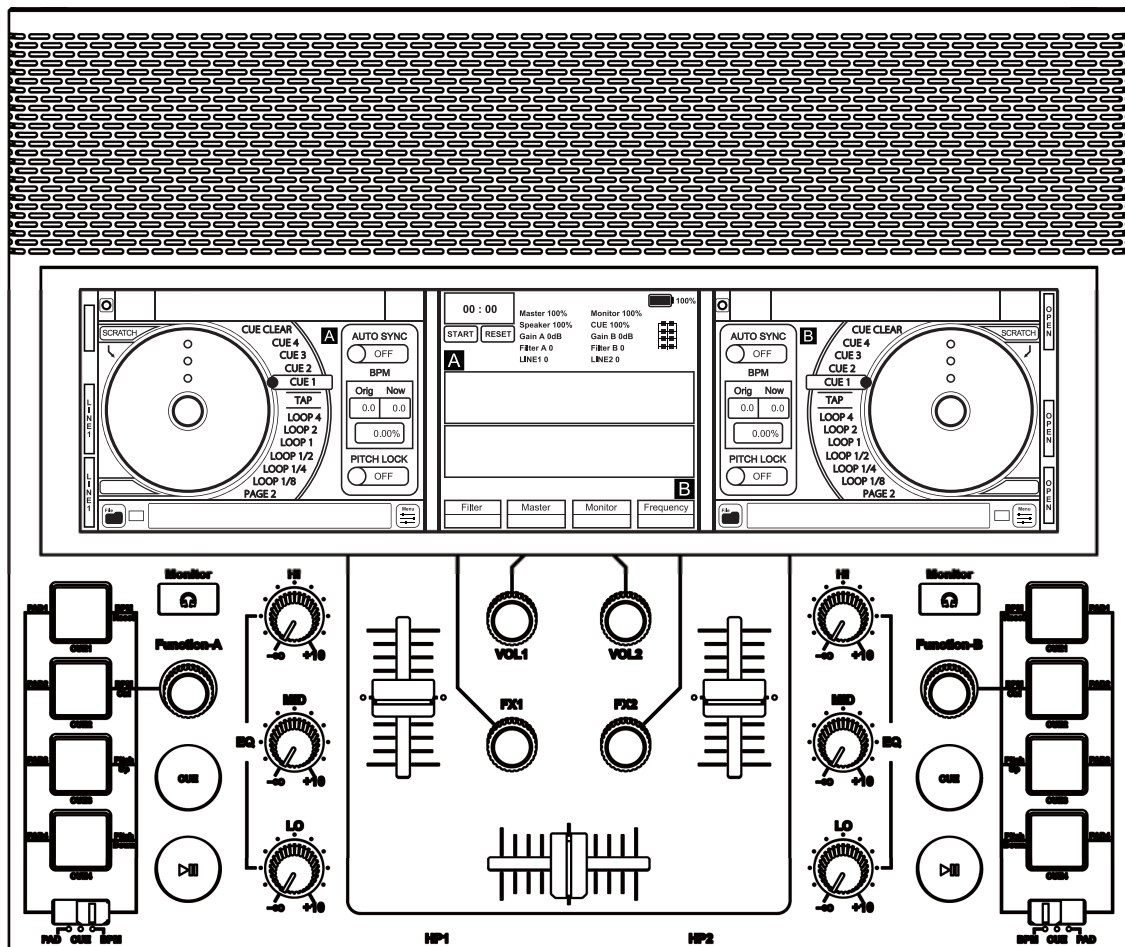




# Portable DJ System **FJ1**

取り扱い上の注意事項は、  
本機付属の取扱説明書をご覧ください。

**取扱説明書（クイックスタートガイド）**

---

---

# はじめに

---

## 本書の見かた

---

- このたびは、ミュージナル製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
本書では、本機の初回アップデート方法と、音声を出力するまでの基本的な手順を簡単にご説明しています。  
本機をご使用前に、本書および付属の「取扱説明書」を必ずお読みいただき、内容をご理解のうえご使用ください。  
本機のご使用にあたってご理解いただくべき重要事項が含まれています。
- 本書で説明しているソフトウェアおよびハードウェアの仕様や外観は、予告なく変更される場合があります。そのため、本書の記載と実際の製品が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

---

## 本製品の特徴

---

本機は、リチウムイオンバッテリー内蔵のポータブル DJ システムです。A4 サイズ相当のコンパクトな筐体に、2 チャンネルミキサー、ワイド液晶、各種エフェクトコントロールを搭載しており、場所を選ばず本格的な DJ プレイが可能です。内蔵スピーカーを備えているため、外部機器を接続せずに単体で演奏できます。コンパクトで高級感のあるデザインにより、持ち運びやすさと操作性を両立したオールインワン DJ システムです。

---

## 付属品を確認する

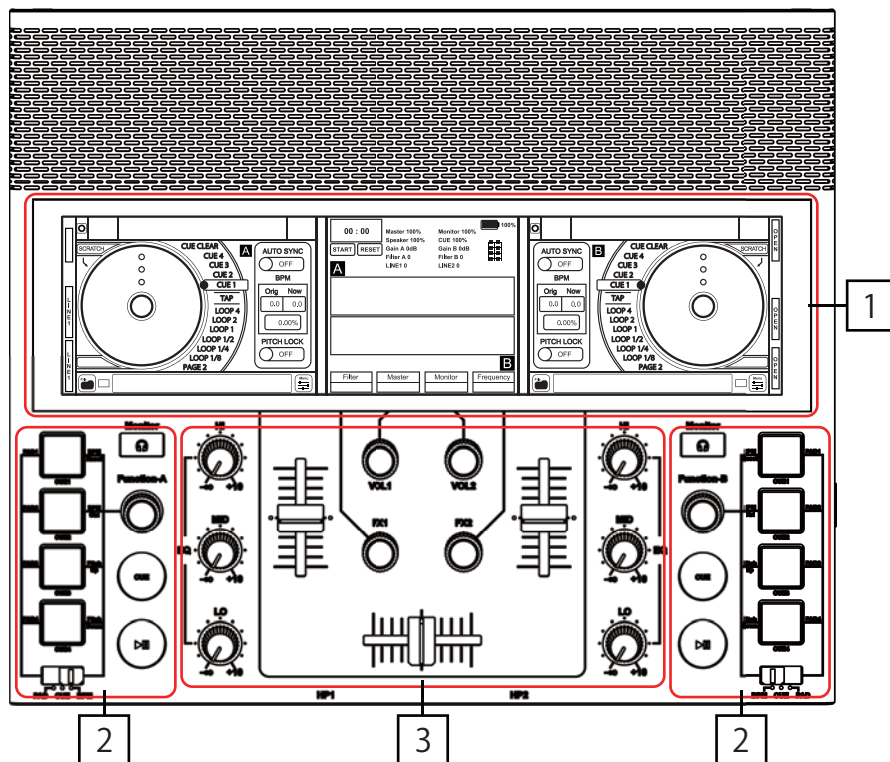
---

- PD45W 対応 USB Type-C ケーブル
- 取扱説明書兼保証書
- ハードケース

# 各部の名称

## 各部の名称

各ボタンやツマミの機能についての詳細は、取扱説明書をご確認ください。

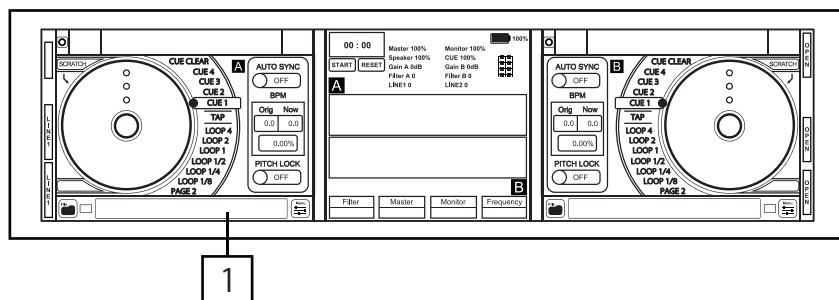


1 ブラウザー部

2 デッキ部

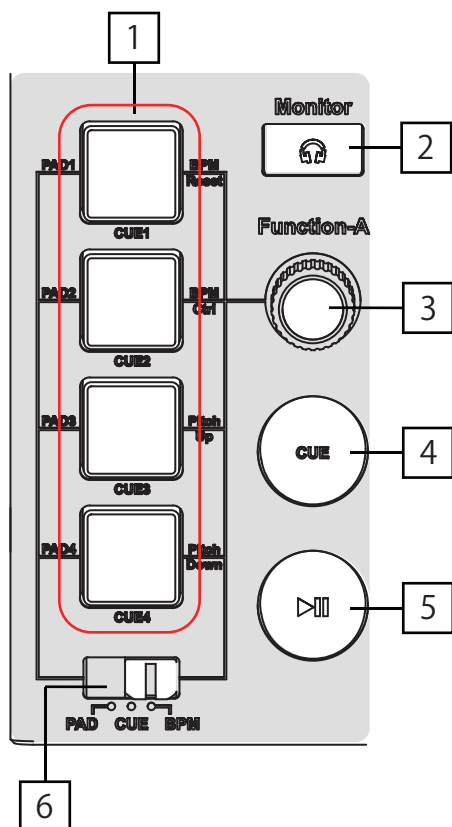
3 ミキサー部

## ブラウザー部



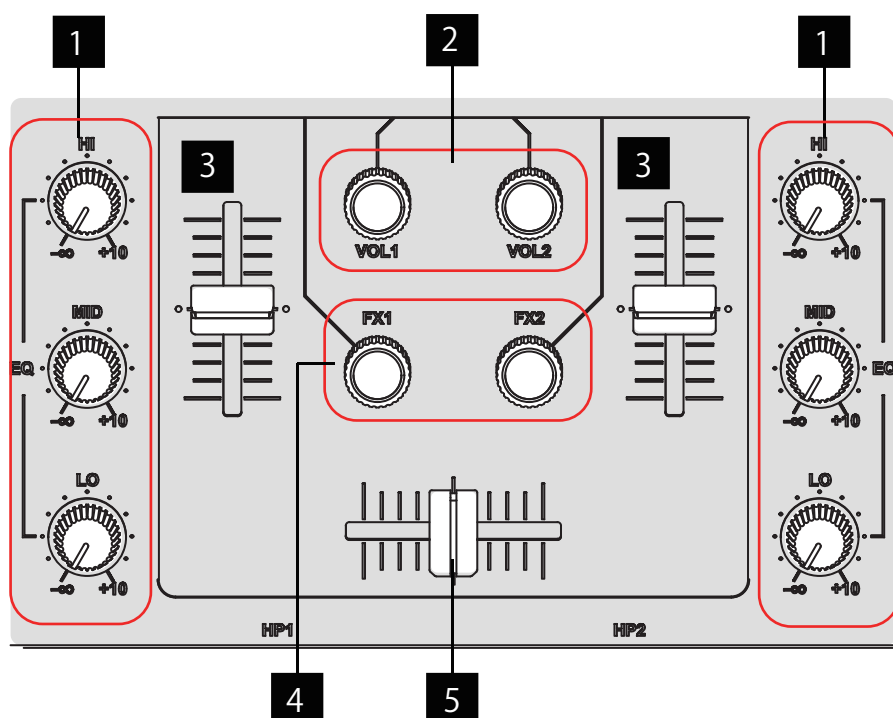
1 タッチパネル式液晶

## デッキ部



- 1 パッドボタン
- 2 ヘッドフォンモニターボタン
- 3 ファンクションノブ
- 4 CUE ボタン
- 5 再生 / 停止ボタン
- 6 PAD / CUE / BPM 切り替えスイッチ

## ミキサー部



- 1 EQ ノブ
- 2 ボリュームノブ
- 3 チャンネルフェーダー
- 4 FX ノブ
- 5 クロスフェーダー

## 本体背面部

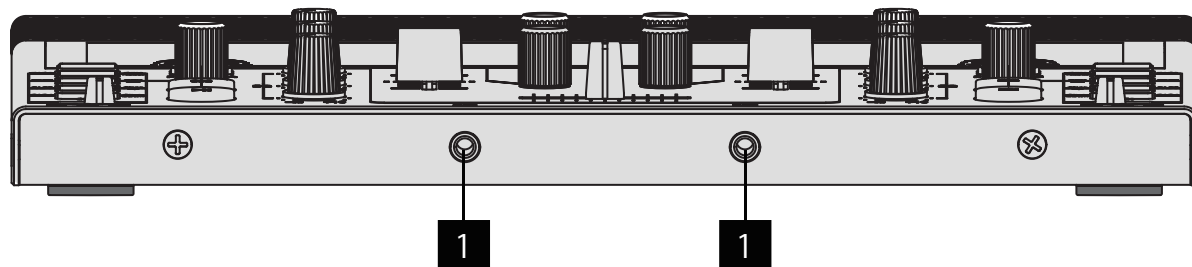
---



- 1 ケンジントンロック装着用穴

## 本体前面部

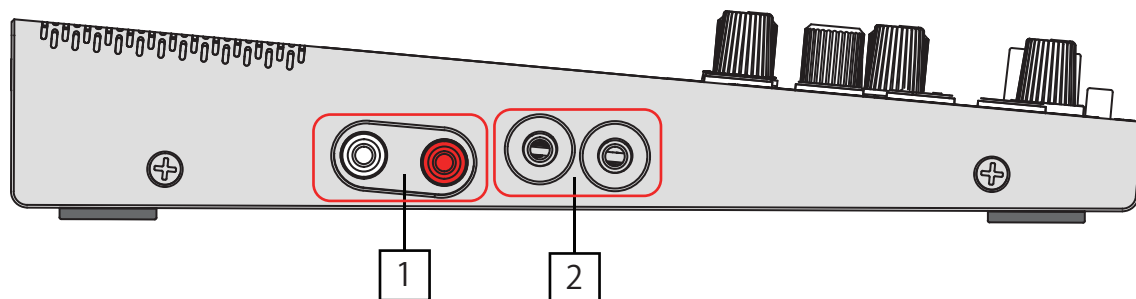
---



- 1 ヘッドフォン / LINE 出力端子  
\*ヘッドフォン / LINE 出力端子は、使用する出力の種類に応じて、  
本体メニューより切り替えてご使用ください。

## 本体左側面部

---

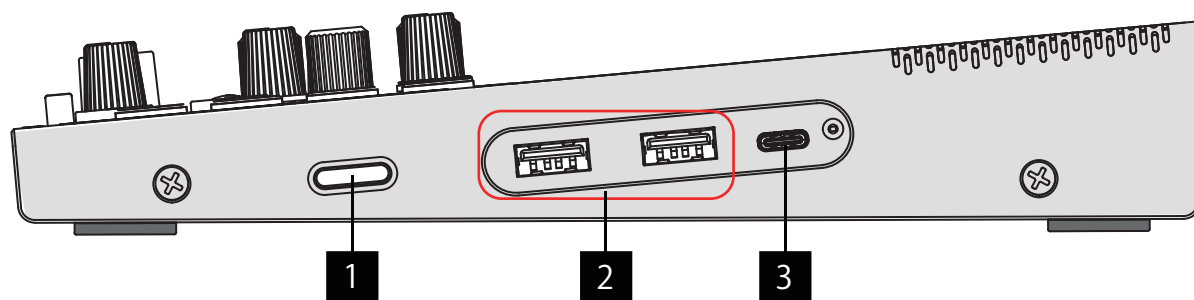


- 1 RCA 出力端子  
2 LINE / MIC 入力端子

\* LINE / MIC 入力端子は、使用する入力の種類に応じて、  
本体メニューより切り替えてご使用ください。

## 本体右側面部

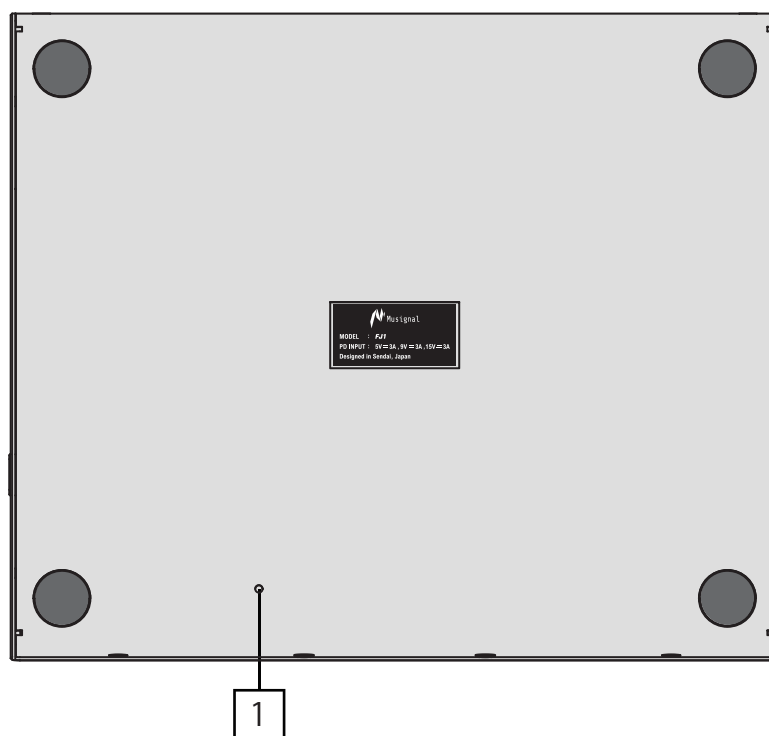
---



- 1 電源ボタン
- 2 USB 端子 (Type-A)
- 3 USB 端子 (Type-C)

## 本体底面部

---



- 1 リセットボタン

# 初期設定方法

## ご準備いただくもの

初期設定をおこなう前に、以下のものをご用意ください。

- ・ USB Type-C 充電用アダプター（USB Power Delivery に対応したもの推奨）
- ・ 本機
- ・ 付属の USB Type-C ケーブル
- ・ FAT 形式にフォーマットした USB メモリ \*（推奨容量：32GB 以下）

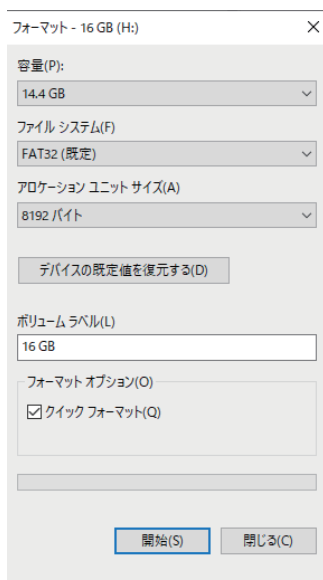
\*Windows / Mac 以外でフォーマットをしたことがある USB メモリでは、以前のフォーマットの状態によって正しく使用できない場合があります。その場合はお手数ですが、新しい USB メモリをご用意ください。  
また、初期設定時は exFAT は未対応です。FAT32 もしくは、MS-DOS (FAT) にてフォーマットしてください。

## USB のフォーマット / Windows

ご準備いただいた USB メモリは、事前に一度フォーマットしてください。

USB メモリ内の既存のデータはすべて消去されます。ご注意ください。

1. 画面左下にあるスタートボタン（Windows ロゴ）を右クリックしてください。
2. 表示されたメニューの中から「エクスプローラー」を選択します。
3. 左側のメニューから PC を選択します。
4. フォーマットしたい USB メモリのアイコンを右クリックします。
5. 表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。
6. ファイルシステムを FAT32\* に設定し、フォーマットを実行してください。



\* 初期設定時は exFAT は未対応です。

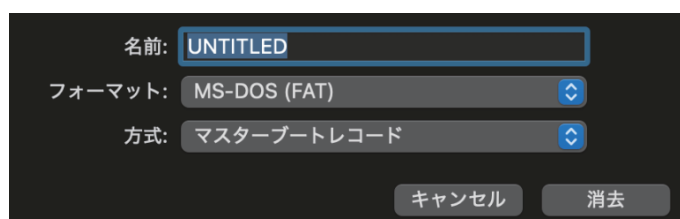
FAT32 もしくは、MS-DOS (FAT) にてフォーマットしてください。

FAT32 もしくは、MS-DOS (FAT) が表示されない場合は 32GB 以下の USB メモリをお使いください。

## USB のフォーマット / Mac

ご準備いただいた USB メモリは、事前に一度フォーマットしてください。  
USB メモリ内の既存のデータはすべて消去されます。ご注意ください。

1. Launchpad または Finder から「ディスクユーティリティ」を開きます。
2. 左側に表示されるリストからフォーマットしたいUSBメモリを選択します。
3. 画面上部の「消去」ボタンをクリックします。
4. ファイルシステム(フォーマット形式)を MS-DOS (FAT)\* に設定します。
5. 必要に応じて名前を入力し、「消去」を押してフォーマットを実行してください。



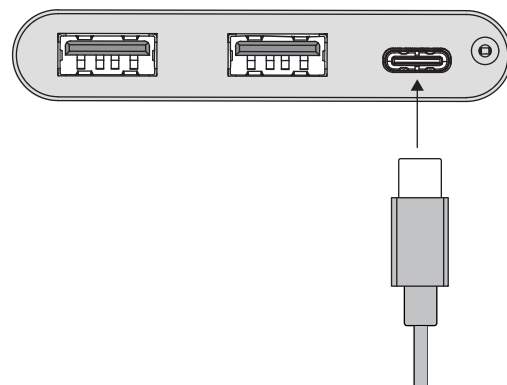
\* 初期設定時は exFAT は未対応です。

FAT32 もしくは、MS-DOS (FAT) にてフォーマットしてください。  
FAT32 もしくは、MS-DOS (FAT) が表示されない場合は 32GB 以下の USB メモリをお使いください。

## 充電する

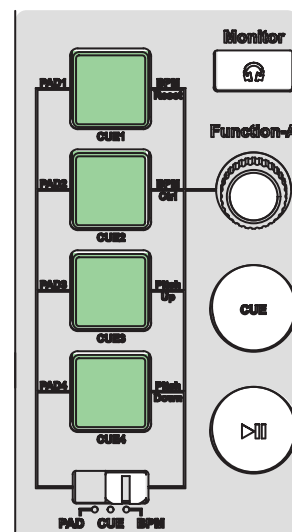
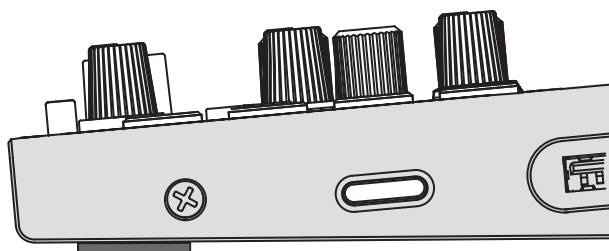
本機は内蔵のリチウムイオンバッテリーで使えます。  
充電の際は、必ず本機に付属の USB Type-C ケーブルを使用し、  
USB Type-C ポート \* に接続してください。

\* 本機への電源供給は USB Type-C ポートからのみ行えます。



## 電源を入れる

本体右側面の電源ボタンを、パッドが緑色に点灯するまで  
長押しして、本機を起動してください。





# 初回起動時のファームウェアインストール

初回起動時のみ、下記手順に従って本体に FJ1 ファームウェアをインストールしてください。

1. Windows/Mac 等でダウンロード

画面に表示されるQRコード、または以下のURLにアクセスして、FJ1ファームウェアをダウンロードしてください。

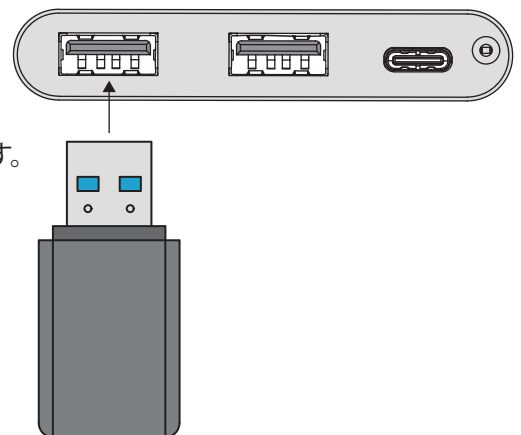
<https://fj1.musignal.co.jp/#update>



2. USBにコピー

ダウンロードしたファームウェアのファイルをUSBメモリに保存し、本機のUSB端子 (Type-A) に挿入してください。

USBメモリが本機に挿入されるとバージョン表示画面に切り替わります。



3. 本体にインストール

本体の画面で『開始』を押します。

表示された更新確認画面の内容を確認し、『書き込み開始』を押してインストールしてください。

4. 進捗の確認

プログレスバーでインストールの進行状況を確認できます。

5. 再起動と利用開始

インストールが100%に達すると自動的に本体が再起動します。

再起動後、FJ1の各機能をご利用いただけます。

\*インストール中にフリーズした場合は、本体底面部のリセットボタンを先の細い棒状のもので押してください。

# FJ1 特有の操作仕様

## PAD 切り替えスイッチ（BPM モード時）

### PAD1

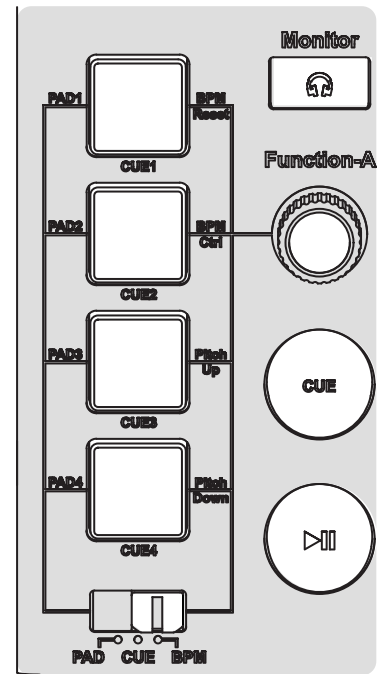
押すと点滅しながらBPMが徐々にオリジナル値に戻ります。

### PAD2

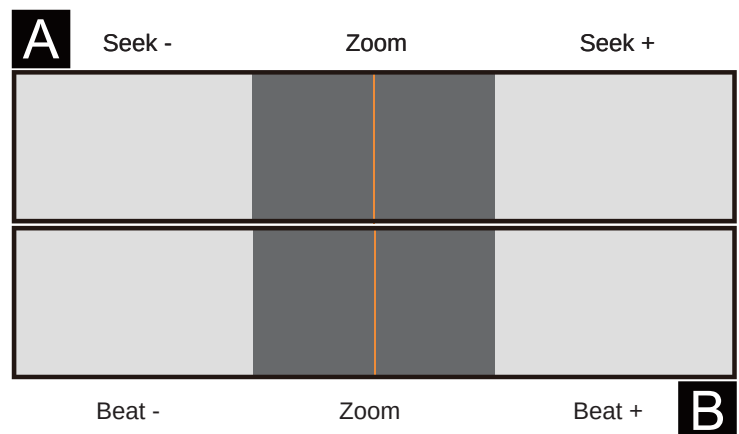
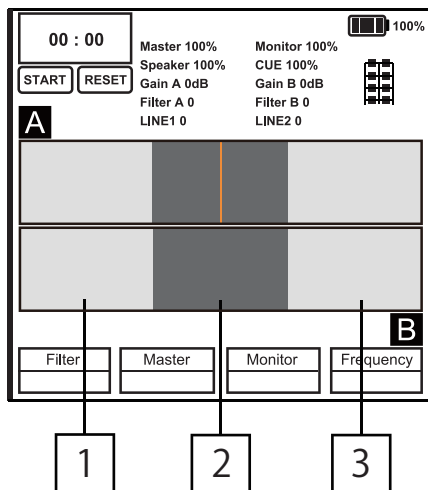
押すと点灯し、隣のファンクションノブでBPMを調整できます。  
ノブを押し込むと、BPMを即時リセットできます。

### PAD3 / PAD4

停止中はサーチ、再生中はピッチベンドとして動作します。



## 中央波形タッチ操作



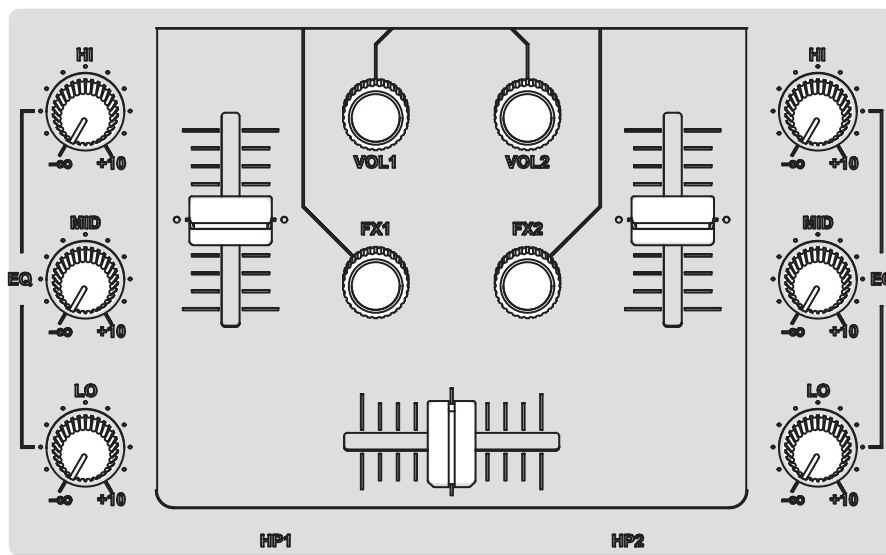
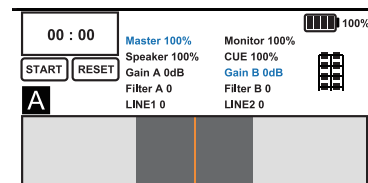
- 1 タッチすると、停止中は負方向にシーク、再生中は負方向に1ビートスキップとして動作します。
- 2 タッチすると、表示倍率が1倍 → 2倍 → 4倍に切り替わります。
- 3 タッチすると、停止中は正方向にシーク、再生中は正方向に1ビートスキップとして動作します。

## ボリュームノブ

VOL1をクリックすると、割り当てが順に切り替わります。  
Master → Speaker → GainA → FilterA → Line1

VOL2をクリックすると、割り当てが順に切り替わります。  
Monitor → CUE → GainB → FilterB → Line2

現在割り当てられている項目は、各ノブ上の画面に表示されます。

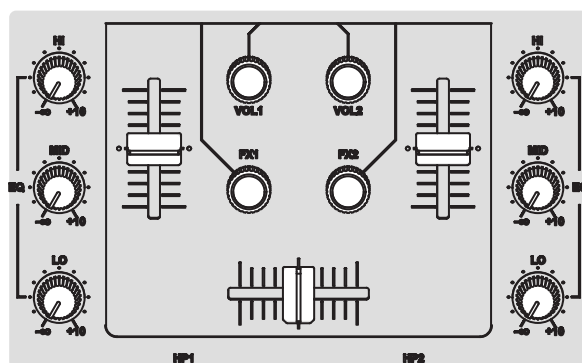
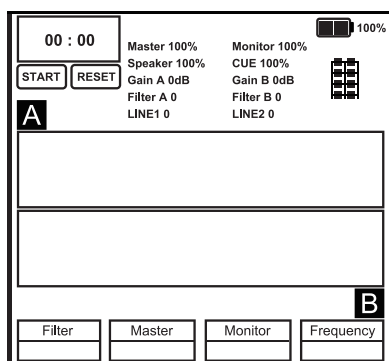


## FX ノブ

### GODJレガシーモード

FX1の回転で制御するエフェクトを選択できます。  
ノブを押し込むとエフェクトのON/OFFを切り替えられます。

FX2の回転でレベル (Wet) を調整できます。  
ノブの押し込み回転でレンジ (Beat) を調整できます。



# サンプラー

---

チャンネルフェーダーおよび、クロスフェーダーの影響を受けます。

USBメモリの /pads/ フォルダ内に、48kHz、16-bit、ステレオWAV形式の音源を保存すると認識されます。  
再生可能な音源の最長時間は60秒です。

フォルダはアルファベット順でデッキA / デッキBに割り当てられます。

1フォルダあたり最大4ファイルを認識します。

## タッチ操作の挙動

---

- 500ms以下のタッチ → ドローン
- 500ms以上のタッチ → ワンショット (ワンショット再生中にタッチすると停止)

## フォルダ構成とデッキ割り当て

---

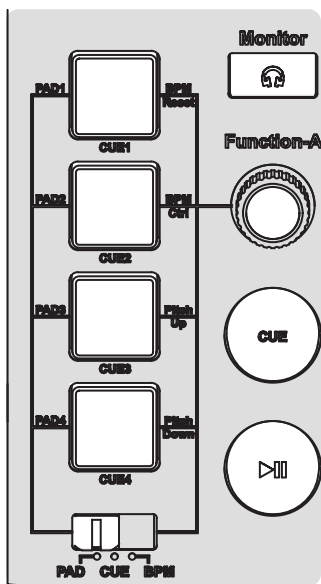
pads フォルダ直下に任意の名前のフォルダを作成してください。

フォルダ名は自由ですが、アルファベット順で並び、最初のフォルダがデッキA、次のフォルダがデッキBに割り当てられます。

## フォルダ作成例

---

1. USBメモリをPCに接続し、ルートディレクトリ直下に pads フォルダを新規作成します。
2. その中に、デッキごとのフォルダを作成します。
3. 作成したフォルダに、48kHz / 16-bit / ステレオWAV形式 の音源ファイルを配置します。



- 例
- /pads/padA/01.wav → デッキA 側 PAD1
  - /pads/padA/02.wav → デッキA 側 PAD2
  - /pads/padB/01.wav → デッキB 側 PAD1